

サンプルファイル「Iroha_Sample2.zip」の構成 (Ver1.3.0 RocksDB 対応版)

サンプルファイル「Iroha_Sample2.zip」には、Hyperledger Iroha Ver1.3.0 (RocksDB 使用)に対応した例題ファイルや入力する内容を記述したファイルがディレクトリ別に格納しています。このファイルは、ZIP 形式の圧縮ファイルです。解凍して利用してください。本書の末尾に Ver1.3.0 (RocksDB 使用)の主な変更点を記載しました。

¥(ルート)ディレクトリ

本書の各章で解説するコマンドなどをまとめたテキストファイルです。

ファイル名	内容 (カッコ内はオリジナルとの変更点です)
2support.txt	第 2 章で入力する内容をまとめたテキストファイルです (Ver1.3.0 RocksDB 用に修正)
3support.txt	第 3 章で入力する内容をまとめたテキストファイルです (Ver1.3.0 RocksDB 用に修正)
4support.txt	第 4 章で入力する内容をまとめたテキストファイルです (Ver1.3.0 RocksDB 用に修正)
5support.txt	第 5 章で入力する内容をまとめたテキストファイルです (Ver1.3.0 RocksDB 用に修正)
Asupport.txt	付録で入力する内容をまとめたテキストファイルです (Ver1.3.0 RocksDB 用に修正)
genesis.block	3.3.1 Hyperledger Iroha 環境の再構築方法 にて置き換えて使用します

example1 ディレクトリ

第 4 章のシンプルな例題で使用するファイルを格納しています。圧縮ファイルを解凍して example1 ディレクトリ内のすべてのファイルを Docker ホストの~/node_modules/iroha-helpers/example/ディレクトリにコピーしてください。

ファイル名	役割	内容 (カッコ内はオリジナルとの変更点です)
ed25519_keygen.js	ー	キーペア表示
keycreate.js	ー	キーペア作成 (10 行目を Ubuntu インストール手順と同期)
iroha01.js	呼出しファイル	アカウント情報&残高情報の表示
iroha11.js	本体ファイル	
iroha02.js	呼出しファイル	アカウント作成
iroha12.js	本体ファイル	
iroha03.js	呼出しファイル	アセット加算処理
iroha13.js	本体ファイル	
iroha04.js	呼出しファイル	アセット転送処理&アセット加算処理
iroha14.js	本体ファイル	
iroha05.js	呼出しファイル	ブロック内容表示：ブロック位置指定
iroha15.js	本体ファイル	
iroha06.js	呼出しファイル	ブロック内容表示：アカウント指定
iroha16.js	本体ファイル	

デスクトップにサンプルファイル「Iroha_Sample2.zip」を解凍した場合、以下のコマンドにてコピーします。

```
sudo cp ~/デスクトップ/Iroha_Sample2/example1/* ~/node_modules/iroha-helpers/example
```

example2 ディレクトリ

第 5 章の例題「コワーキングスペース日本」で使用するファイルを格納しています。圧縮ファイルを解凍して example2 ディレクトリ内のすべてのファイルを Docker ホストの~/node_modules/iroha-helpers/example/ディレクトリにコピーしてください。

ファイル名	役割および内容（カッコ内はオリジナルとの変更点です）
err_kizon.html	既存アカウントエラー画面
err_message.html	汎用エラー画面
kaiin_input.html	新規会員登録画面
pg_nyuukai.js	会員情報を PostgreSQL に登録
pg_shiharai.js	支払情報を PostgreSQL に登録 チャージ処理と支払処理で共用
topmenu.html	トップメニュー
web.js	Web アプリケーション本体（33 行目を Ubuntu インストール手順と同期）
zandata1.html	チャージ画面
zandata2.html	お支払画面

デスクトップにサンプルファイル「Iroha_Sample2.zip」を解凍した場合、以下のコマンドにてコピーします。

```
sudo cp ~/デスクトップ/Iroha_Sample2/example2/* ~/node_modules/iroha-helpers/example
```

peer ディレクトリ

付録の「A.3 複数 Peer 構成の構築」で使います。圧縮ファイルを解凍して peer ディレクトリ内の genesis.block ファイルを Docker ホストの~/iroha/example/ディレクトリおよび~/iroha/example1 ディレクトリおよび~/iroha/example2 ディレクトリにコピーしてください。

ファイル名	役割および内容
genesis.block	Hyperledger Iroha 複数 Peer 構成のブロックチェーンの初期値

デスクトップにサンプルファイル「Iroha_Sample2.zip」を解凍した場合、以下のコマンドにてコピーします。

```
sudo cp ~/デスクトップ/Iroha_Sample2/peer/genesis.block ~/iroha/example
```

```
sudo cp ~/デスクトップ/Iroha_Sample2/peer/genesis.block ~/iroha/example1
```

```
sudo cp ~/デスクトップ/Iroha_Sample2/peer/genesis.block ~/iroha/example2
```

2021 年 12 月 21 日時点の状況に合わせた改定

- ・ GitHub 上のブランチ変更に合わせて改定(master ブランチが廃止されました)
- ・ Latest 変更に合わせて改定(Latest バージョンが 1.3.0 となりました)

本書に関する Hyperledger Iroha Ver1.3.0 (RocksDB 使用)の変更点

- ・ キーファイルの改行コードも含めてキーと見なすようになりました
- ・ iroha-cli コマンドのメニュー構成とメニュー番号が変更となりました
- ・ root 権限が使用できるようになりました(can_create_role 権限だけではロールを作成できません)
- ・ PostgreSQL 内のデータベース名が iroha_default に変更されました
- ・ Ver1.2.0 以降と未満のバージョンでは複数 Peer 構成を構築できません
- ・ Ver1.2.0 以降と未満のバージョンでは iroha-cli のメニュー番号が異なります

- ・ Hyperledger Iroha Ver1.3.0 では、WSV の格納先を PostgreSQL か RocksDB のいずれかを選択できます。サンプルファイル「Iroha_Sample2.zip」では、WSV の格納先を RocksDB としています。Hyperledger Iroha Ver1.3.0 で、WSV の格納先を PostgreSQL とする場合には、サンプルファイル「Iroha_Sample1.zip」を使用してください。

以上